

令和3年度 第9回春日区地域協議会
次 第

日時：令和3年9月28日(火) 午後6時30分から
会場：上越市市民プラザ 第3会議室

延べ1時間45分

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 報告事項

○ 「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について 【20分】

(2) 協議事項

○ 自主的審議について 【30分】

1) 前回のグループワークの結果について

2) 今後の進め方について 【45分】

(3) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認 【5分】

- 日時 令和3年 ___月 ___日() 午後6時30分から
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 (仮)自主的審議について

(2) その他

5 閉 会

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

令和3年8月

上越市自治・地域振興課

1 概要

- ・第4期地域協議会委員へ依頼した「地域協議会に関する意識調査」について、回答の傾向から改善を要すると考えられるもののうち、市及び各地域協議会として比較的速やかに取り組むことが可能な項目を整理しました。
- ・中長期的な検討を要すると考えられるものについては、回答の内容から課題を整理し、市において令和6年の次期委員改選を目途に検討を継続します。

2 調査結果を受けた取組について

各設問の回答について、「具体的にどのような部分、分野に対するものか」の観点から細分化して整理し、回答の多かった主な項目について、短期的に実施が可能な取組と中長期的に検討を要するものに分類しました。

2-1 短期的に実施が可能な取組

(1) 市が取り組むこと

ア 周知について

ア-1 主な回答

- ・委員の活動について、仕事や家庭等との両立が難しかった。
- ・協議会の会議を優先させてもらえるよう、職場等に理解を求める工夫をした。
- ・協議会制度の認知度を上げる努力をもっとしてほしい。
- ・自主的審議における地域課題の解決には、地域団体の協力が不可欠

ア-2 市の今後の取組

- ・委員の求めに応じ、委員の勤務先等に委員活動への理解と協力依頼の文書を発出するなど、委員の勤務先等から理解や配慮をいただける環境づくりを行います。
- ・各地域協議会だよりによる周知を継続するほか、委員改選時に実施する市広報の特集記事の掲載に限らず、市ホームページやSNSの活用、活動報告会の毎年開催など、自主的審議等協議会の活動や成果等を市民へ広く周知する方法を検討します。

イ 情報共有について

イー１ 主な回答

- ・他地区の地域課題をもっと情報提供してほしい。
- ・議論を進めるにあたっては、他協議会の事例等を交えたらよいと思う。

イー２ 市の今後の取組

- ・空き家対策の審議から「(仮称)安心ノート」の取組につながった(清里区)など、自主的審議から課題解決の取組につながった事例を、議論の参考として地域協議会へ情報提供します。
- ・各地域協議会における議論の内容、答申を受けての市の対応及び各事務局で把握した情報等を事務局間で情報共有し、自らの区で参考になりそうな事案があれば、地域協議会へ積極的に情報提供します。[下線部は市議会提案を反映]
- ・各事務局が可能な範囲で区内の地域団体等の活動計画を情報収集し、地域協議会へ情報提供します。

ウ 元気事業について

ウー１ 主な回答

- ・元気事業について、取り組み方の基本的なイメージや方法等が委員の多くで共有できなかった。
- ・議論を進める上で、元気事業の活用を想定していなかった。

ウー２ 市の今後の取組

- ・「地域を元気にするために必要な提案事業」の目的の理解や認知度を高めるため、当事業を活用した事例を地域協議会へ周知します。
- ・地域協議会での議論の状況を踏まえ、事務局が当事業の活用の検討を提案します。

(2) 各地域協議会において取組の検討をお願いしたいこと

ア 意見交換について

アー１ 主な回答

- ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要
- ・課題に気づき、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要
- ・日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要

アー２ 各地域協議会における今後の取組(案)

地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化 [下線部は市議会提案を反映]

イ 会議運営について

イー１ 主な回答

- ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。
- ・月１回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。
- ・毎回１時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。
- ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。
- ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。
- ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。

イー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

- ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定
- ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用
- ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施
- ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮
- ・分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり

ウ 情報発信について

ウー１ 主な回答

- ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。
- ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。

ウー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫

２－２ 市において中長期的に検討を要するもの（主な意見）

- ① 委員資格について
「職場が区内にある人も委員の対象とする」といった委員資格に関するもの
- ② 委員の公募公選について
「立候補者や若い人達の応募が少ない」といった公募公選に関するもの
- ③ 委員の追加・補充選任について
「定員合わせは不要」、「やる気のある人だけで進めるべき」といった委員の追加、補充選任に関するもの

④ 議論の深化・活発化について

「地域団体との意見交換の枠を超えるオブザーバー制度の導入」といった議論の深化や活性化に関するもの

⑤ 報酬の要否について

「自主参加とはいえ、拘束時間に対する補償が少ない」、「委員になりたくない理由の一つとして費用弁償だけでは少なすぎる」といった報酬に関するもの

上記のほか、「地域活動支援事業」に関して、「地域活動支援事業は根本的な見直しの時期」、「同じ団体だけが毎年申請する状況が続く点の改善」、「補助対象事業の統一」、「地域協議会提案枠の創設」などの意見があったことを踏まえ、地域活動支援事業の在り方や運営に関することについて検討していきます。

また、「地域を元気にするために必要な提案事業」の制度に関して、「面倒」、「使いにくい仕組み」といった意見があったことを踏まえ、地域を元気にするために必要な提案事業の制度の仕組みや活用のしやすさについて検討していきます。 [下線部は市議会提案を反映]

➤地域協議会の制度自体の在り方に係るこれらの意見に対しては、市議会総務常任委員会
で予定される提言等を踏まえながら、引き続き市で検討を進めていくこととします。

3 今後の予定

- | | | |
|-------|-----|--|
| 令和3年度 | 8月～ | ・地域協議会に短期的に実施が可能な取組案を示し、各地域協議会で協議 |
| | | ・すぐに取り組めるものから実施するとともに、各地域協議会において取組を検討いただく。 |
| | | ・市で調査結果の分析と中長期的に検討を要する項目の検討を継続 |
| 令和4年度 | | ※市議会総務常任委員会からの提言（予定） |
| | 4月～ | ・市議会からの提言を受けて検討継続 |
| | 年度末 | ・市としての地域協議会の見直し案の確定 |

4 研修について

地域協議会の役割などの研修等が必要と判断される場合は、事務局（総合事務所、まちづくりセンター）との協議をお願いします。

また、委員個人として確認や相談を希望される場合は、事務局へお声がけください。

8月31日実施 グループワークの結果【グループ別】

<A グループ>

区分	内容	キーワード※
1.困っていること (顕在の課題)	冬期、学校への通学路が雪で使用できず危険。 歩道の除雪が必要な箇所が多々ある。	雪対策
	冬期の道路除雪の方法。雪を始末する場所がなく、各家の前に押し付けていくので、各戸での除雪が大変。	雪対策
2.心配していること (潜在の課題)	災害時の避難場所の設備が適しているか。また、災害用の備品は確保できているか。	災害への備え
	空き家、アパートの防災管理はどうなっているか。	災害への備え
	春日区には防災士会がなく、防災士の人数も少ない(17名)。28区のうち20区に支部が存在。	災害への備え
	雪の問題や、春日山整美などの問題を包括的に協議・解決していく組織があるとよい。(現在は個別に細分化されていないもの)	まちづくり活動
	春日山地区の草刈り等の整美を市としてもっとできないか。(4.自慢したいところ にも記載)	春日山城跡
3.好きなところ (維持・愛着)	三世代交流がうまくいっている地区もある。子どもと祖父母世代の交流がよくできている。	住民同士の交流
	住環境が整備されているし、人口もそこそこで住みやすい地区。	住みやすさ
4.自慢したいところ (魅力の発信)	史跡春日山城跡がある。	春日山城跡
	春日山地区の草刈り等の整美を市としてもっとできないか。(2.心配していること にも記載)	春日山城跡
	観光資源が豊富	春日山城跡
5.進め方		

※ 「キーワード」は事務局において仮に記載したものです。

<B グループ>

区分	内容	キーワード※
1. 困っていること (顕在の課題)	防災訓練のマンネリ化 → 新しい防災訓練のあり方	災害への備え
	通学路の直線道路でスピードを出す車を何とかできないか。	交通安全
	コロナ禍もあり住民同士のふれあいが少なくなっている。	住民同士の交流
	子ども会の停滞、老人会を含めて、地域と学校との連携が不足している。	住民同士の交流
	除雪の問題点	雪対策
	大雨が降ると浸水箇所が多くある。	水害対策
2. 心配していること (潜在の課題)	お隣とのつきあいがなくなってきている。これからの地域づくりをどうしていくのか。	住民同士の交流
	少子高齢化による独居老人、空き家対策、災害時の心配。	独居・空き家対策
	大規模な避難訓練を行い、弱者の把握、伝達の方法の確認（核家族化に伴う世帯数の増加のため）	災害への備え
	地域活性化をどのように創出していくのか。	まちづくり活動
3. 好きなところ (維持・愛着)	生活しやすい。	住みやすさ
	病院、幼稚園、小学校、中学校、大学がある。	住みやすさ
	公共交通（電車、バス、高速バス）が充実している。	住みやすさ
	公共施設が集中していて便利である。	住みやすさ
4. 自慢したいところ (魅力の発信)	県外のお客様が訪れた時に必ず案内する。（春日山城跡、春日神社、林泉寺、埋蔵文化財センター、春日山城跡ものがたり館）	春日山城跡
	公共施設が整っていて便利である（上越教育大学を含む）。	住みやすさ
5. 進め方	防災・福祉については、町内会長連絡協議会及び福祉関係の団体との話し合いが必要	災害への備え
	春日山の観光については、春日山の観光を盛り上げる活動をされている各種団体との意見交換会	春日山城跡
	地域を見て回り活動実態の把握と参考にする。	研修等
	人口動態の調査（アパート、マンション、新興住宅、他地区からの転入、核家族化の実態 等）	研修等
	必要に応じ前期自主的審議結果を活用	その他

※ 「キーワード」は事務局において仮に記載したものです。

<C グループ>

区分	内容	キーワード※
1.困っていること (顕在の課題)	春日山3:アオキ前の道路の冠水(春日野で管が細い)	水害対策
	町内役員・班長等の名簿が欲しい。	その他
	イベント、防災訓練、PTA等参加者少ない。	まちづくり活動
2.心配していること (潜在の課題)	歩道の整備・通学路(高志小前看板あり)	交通安全
	除雪、道路の確保	雪対策
	豪雪時、1人暮らしの世帯の対応(町内で)	独居・空き家対策
	自然災害に対する安全安心な対応	災害への備え
3.好きなところ (維持・愛着)	おいしい米・酒等、通年観光を目指す。	その他
4.自慢したいところ (魅力の発信)		
5.進め方	地域で守る活動、コミュニティづくり	まちづくり活動
	町内会の役割を共有	研修等
	道路、川の安全性(正善寺川、御館川)	水害対策
	組織づくりが必要(振興会、民生委員)	まちづくり活動
	一人一人のレベルアップが必要	研修等
	住みやすいまちづくり	住みやすさ
	防災ラジオの活用	災害への備え

※ 「キーワード」は事務局において仮に記載したものです。

グループワークの結果【キーワード別一覧】

1 福祉分野

<住民同士の交流>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	コロナ禍もあり住民同士のふれあいが少なくなっている。	B
	子ども会の停滞、老人会を含めて、地域と学校との連携が不足している。	B
2.心配していること (潜在の課題)	お隣とのつきあいがなくなってきている。これからの地域づくりをどうしていくのか。	B
3.好きなおところ (維持・愛着)	三世代交流がうまくいっている地区もある。子どもと祖父母世代の交流がよくできている。	A

<独居・空き家対策>

項目	内容	グループ
2.心配していること (潜在の課題)	少子高齢化による独居老人、空き家対策、災害時の心配。	B
	豪雪時、1人暮らしの世帯の対応(町内で)	C

2 観光分野

<春日山城跡>

項目	内容	グループ
2.心配していること (潜在の課題)	春日山地区の草刈り等の整美を市としてもっとできないか。	A
4.自慢したいところ (魅力の発信)	史跡春日山城跡がある。	A
	春日山地区の草刈り等の整美を市としてもっとできないか。(再掲)	A
	観光資源が豊富	A
	県外のお客様が訪れた時に必ず案内する。(春日山城跡、春日神社、林泉寺、埋蔵文化財センター、春日山城跡ものがたり館)	B
5.進め方	春日山の観光については、春日山の観光を盛り上げる活動をされている各種団体との意見交換会	B

<その他>

項目	内容	グループ
3.好きなおところ (維持・愛着)	おいしい米・酒等、通年観光を目指す。	C

3 安全・安心分野

<災害への備え>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	防災訓練のマンネリ化 → 新しい防災訓練のあり方	B
2.心配していること (潜在の課題)	災害時の避難場所の設備が適しているか。災害用の備品は確保できているか。	A
	空き家、アパートの防災管理はどうなっているか。	A
	防災士会がなく、防災士の人数も少ない(17名)。28区中20区に支部が存在。	A
	大規模な避難訓練を行い、弱者の把握、伝達の方法の確認(核家族化に伴う世帯数の増加のため)	B
	自然災害に対する安全安心な対応	C
5.進め方	防災・福祉については、町内会長連絡協議会及び福祉関係の団体との話し合いが必要	B
	防災ラジオの活用	C

<雪対策>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	冬期、通学路が雪で使用できず危険。歩道の除雪が必要な箇所が多々ある。	A
	道路除雪で雪を始末する場所がなく、各家の前に押し付けるため、各戸での除雪が大変。	A
	除雪の問題点	B
2.心配していること (潜在の課題)	除雪、道路の確保	C

<水害対策>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	大雨が降ると浸水箇所が多くある。	B
	アオキ前(春日山3)の道路の冠水(春日野で管が細い)	C
5.進め方	道路、川の安全性(正善寺川、御館川)	C

<交通安全>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	通学路の直線道路でスピードを出す車を何とかできないか。	B
2.心配していること (潜在の課題)	歩道の整備・通学路(高志小前看板あり)	C

4 その他

<住みやすさ>

項目	内容	グループ
3.好きなおところ (維持・愛着)	住環境が整備されているし、人口もそこそこで住みやすい地区。	A
	生活しやすい。	B
	病院、幼稚園、小学校、中学校、大学がある。	B
	公共交通(電車、バス、高速バス)が充実している。	B
	公共施設が集中していて便利である。	B
4.自慢したいところ (魅力の発信)	公共施設が整っていて便利である(上越教育大学を含む)。	B
5.進め方	住みやすいまちづくり	C

<まちづくり活動>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	イベント、防災訓練、PTA等参加者少ない。	C
2.心配していること (潜在の課題)	雪の問題や、春日山整美などの問題を包括的に協議・解決していく組織があるとよい。(現在は個別に細分化されていないもの)	A
	地域活性化をどのように創出していくのか。	B
5.進め方	地域で守る活動、コミュニティづくり	C
	組織づくりが必要(振興会、民生委員)	C

<研修等>

項目	内容	グループ
5.進め方	地域を見て回り活動実態の把握と参考にする。	B
	人口動態の調査(アパート、マンション、新興住宅、他地区からの転入、核家族化の実態等)	B
	町内会の役割を共有	C
	一人一人のレベルアップが必要	C

<その他>

項目	内容	グループ
1.困っていること (顕在の課題)	町内役員・班長等の名簿が欲しい。	C
5.進め方	必要に応じ前期自主的審議結果を活用	B

今後の審議の進め方

自主的審議の進め方（イメージ）

※ 以下は一例であり、この通りである必要はありません。

手順	工程	具体的な取組（例）	（参考）前期の経過
手順1	地域協議会委員だけで考えてみる。	<ul style="list-style-type: none"> 地域協議会委員が日頃から感じていることや、日常で見聞きしている情報などから、「解決すべき地域の課題」「伸ばすべき地域の特長」について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> SWOT分析で「福祉」「観光」「安全安心」の3本柱を整理(H28.8)
手順2	調べる（聞く・見る）	<ul style="list-style-type: none"> 町内会長、地域の団体、住民と意見交換を行う。[情報交換会の開催] 市からの情報提供を受ける。 現場を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会長との情報交換会(H28.11) 現地確認や事例調査
手順3	話し合っテーマを決める。	<ul style="list-style-type: none"> 改善や伸ばすべきテーマを明らかにし、「自主的審議事項」を定める。 改善や伸ばすべきテーマがない場合は、自主的審議を行わないことを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ決定(H29.8)
手順4	テーマについて深掘りする。	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査などにより実態把握を行う。 (必要に応じて)町内会長、地域の団体、住民との意見交換を行う。[意見交換会の開催] 市からの情報提供を受ける。 視察研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内会長との情報交換会(H29.11)(H30.12) 現地確認や事例調査 関係者との意見交換等
手順5	対応策（手段・ゴール）を決める。	<p>(※ まとめ方の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内での解決に向けた活動（意見交換・働きかけなど）により団体の活動を促す。 「地域活動支援事業」の採択方針への反映により団体の活動を促す。 「地域を元気にするために必要な提案事業」の活用に向け、地域の団体とともに市と協議し、協働事業の実現を目指す。 「意見書」を提出し市による実現を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 【福祉】… 各種団体の連携強化に向けた懇談 【観光】… 特産土産品の企画、開発(検討) 【安全安心】… 交通安全対策に係る意見書提出 <p>※意見書(案)は、町内会長との情報交換会で賛同を得た。(R1.12)</p>
手順6	対応策を実施する。	—	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策に係る意見書の提出(R2.1)
手順7	対応策を総括する。	<ul style="list-style-type: none"> 上記対応策の結果を把握し、評価を行う。必要に応じて、対応策の見直しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 3分科会の審議結果のまとめ(R2.2) 地域協議会活動報告会で報告(R2.2)

(1) 第8回地域協議会【意見聴取】
 ○地域の「課題」「特長」や「審議の進め方」について、委員の考えを聴取。
 ⇒ 資料2・資料3

(2) 第9回地域協議会【情報収集の方法検討】
 ○資料2・資料3を参考に、審議テーマの決定のために必要な情報（地域の現状や関係者の意向など）の収集方法について意見交換を実施。

(3) 情報収集の実施
 (例)○市担当課からの説明 … 市の事業について担当課の説明を受ける。
 ○地域の団体等との情報交換の実施 … 町内会長連絡協議会をはじめ、各種団体等との情報交換を行い、実情や意向を把握する。
 ○現地確認・視察 … 現地確認等を実施する。

(4) 第●回地域協議会【テーマ決定】
 ○把握した情報を踏まえ、自主的審議テーマを決定
 ○審議体制(分科会の設置等)を決定

(5) 地域協議会または分科会等の開催
 ○審議テーマに応じ、必要な審議を進める。

対応策の検討・決定
 (※以降は記載省略)